



中川幸朗委員(八木町)

地方の自立、自己決定による自己責任が求められています。合併はその大きな動きであり、各町の損得だけでは計れません。各町の硬直した多くの問題や課題の抜本的な解決を計る機会であり、住民の皆さんの声を真摯に聞き、町の歴史や独自性を生かし、将来に夢を持てる町づくりを実現する機会でもあります。将来のビジョンをしっかりと立て、住民の皆さんにも、内容を情報公開し、理解を得ながら進んで行きたいと考えています。



出野敏委員(日吉町)

何事も「創り出していく事」は困難なものです。産みの苦しみです。多様な価値観と生活環境、そして少子高齢化の波の中、「21世紀型」という新しい行政を模索しながら、住民自治の確立を目指し、その一手段としての合併を協議しております。皆様の英知に助けられながら、慎重に、丁寧に、熟慮を重ね、悔いのない合併を実現するため、自分の責任を果たしていきたいと考えております。



古屋正雄委員(美山町)

若者が夢を持ち、高齢者が安心して暮らせる新しい街づくりを基本において協議に臨みます。先人が培ってきた自然環境と文化を守りながら、現行政サービスが後退することなく各町の特色を活かし発展させる事が大切である。合併による広域行政のメリットを創出できるよう皆様のご指導をいただきながら重責の任に勤めて参りたいと考えています。



田中博委員(園部町)

昨今の社会情勢に鑑み、住民の生活を守る為、合併による自治体の再構築が強く求められています。各町の特徴ある施策を如何に整合させるか、財政面解消のみに拘わらず、住民への行政サービスが拡散・低下することなく、万遍・公平に享受できる組織づくりが重要です。市街部と農山村部の地域間格差が生じず、住民が広く希望の持てる、将来を見据えた町づくりに知恵を出したいと考えています。



福嶋利夫委員(八木町)

亀岡市を含めた1市7町の広域合併を視野に入れた中での、今般の4町の合併協議に関し、委員としてのその責任を痛感しています。基本調整事項である対等合併、独自性の尊重を常に頭におき、4町が公平な形で円満に合併出来るよう、町民の方々や関係団体の意見や考えを踏まえながら、将来に悔恨を残すことのないよう、全力で取り組みたいと考えています。



吉田紀子委員(日吉町)

身近で重大な問題でありながら、どこか遠い所の話のような感覚でした。しかし、避けられない道であるなら、難題は多々あろうと思いますが、決して弱者が置き去りにされてしまうような合併であってはならないと思います。また、各地域でこれまで培われてきたものが、一層活かされ、誰もがイキイキと充実した暮らしが出来るよう微力ではありますが、お手伝いさせていただきたいと思います。



中西多嘉子委員(美山町)

国は市町村合併の必要性を財政の逼迫化や少子高齢社会の到来、又生活範囲の広域化などと表現しています。国の理由を当然のように推進するのではなく、合併という大きな器の中にどのような中身を込めるかということが大切であると思います。住民の多様な幸せを包み込むことができる器を創り上げるため、みなさんと共に考え、又このことが現在と未来をつなぐ指針になるようにと思います。